みいけ

發行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番

編集發行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場

三鑛勞組
機關紙

# 賃金カット鬪爭を一層强力に
## 苦しいが頑張り抜くぞ

会社はタツタ二百円の賃上げと、七百円の一時金という全く人をバカにした様な提案をしてなんとかこの案で組合にのませようと卑劣なあの手、この手をつかつて切崩しをやろうとしている。だが大手十五社の運搬ストは少しのみだれもなく、かくじつに実施されて資本家達は頭痛鉢巻のかつこうである。四十八手をつかいつくした資本家達は「賃金カット」の最後の寳刀を抜いてきた。要求賃金もカットするという賃金も実力で闘いとろう。

## 指名ストの効果大

大手十五社の原炭搬出拒否は、二月十九、二十日の第四波をむかえ續々と獨資本陣営に、打撃をあたえている。

三池でも指名ストは宮浦支部の運搬系統四名と三川支部の配電関係一名が突入して、完全に一塊の石炭も地上に出すことが出来ない。当初は三川四名、宮浦四名であつたが、戦術の高度化によつて三名を減らしたものであつて、これによる一日の出炭減は七千八百トンである。

連盟はこれに対して、原炭搬出拒否に関する賃金取扱いとして、保安要員、および病院、診療所、配給所、学校、図書館、映画館などの厚生、教育、娯楽施設に従事するもの以外は減産量に応じて賃金を減額して支払うというような要旨のものを連盟から炭労宛に通告を出し、各ヤマで現在給料前払で問題が起つている。

## 賃金カットの責任追求を

三池でも月末は給料の内払であるが、すでに会社は組合に対して、賃金カット実施の意思を表明している。古河や高松ではすでに賃金カットに対する闘いが始められている。これらは二十日前後が給料の前借日であつて、これに対し会社は従来の方法をとらず、鉱業連盟の指令通り、内払いもカットして支払うような態度に出ているので、これに対しては、所属課長、経理課長、鉱長、所長に賃金カットの責任追求の大衆闘争がまきおこり、日鉄二瀬、貝島、三菱の主婦達は賃金カット反対の決起大会を開き、組合員とともに、会社幹部社宅に抗議のデモをなしている。なお日炭高松では十九日この問題で団交を行つた結果、賃金カットとは無関係に内払いを行うとの回答を得て凱歌が擧げられた。

オイ！ベルトは止つたぞ　三川坑

**前進**

# 階級の敵と闘う

三井王國を誇つた大牟田市では労働者を中心に農民、中小企業者が去る七日の平和憲法を守り、春季闘争の要求貫徹を目指す大地評主催の総蹶起大会を機会にガッチリと手を組んで、働く者が幸福になる様な世の中、平和な日本を築くための前進が續けられている。

この労働者や農民、中小企業者の眞摯な態度に対して水を差す様なことが大牟田市で行はれつゝある。それは「愛市クラブ」と稱する市会議員團が二月初旬誕生したことである。吾々の代表である労友クラブ議員を除いた殘余の全市会議員が之に參加しているという而もその發足の言たるや「最近の大牟田市は労働者の獨壇場たらんとしている。このまゝで放置したら大牟田の街は赤旗の波で埋まつてしまうであろう」と放言している。

こんな物の見方が大牟田を愛することであるならば、大牟田市の繁榮を願う者は一体誰であるか。大牟田の今日あるのは、六十年間石炭と闘つて來た労働者の犠牲の上にのみ築かれて來た。そしてその地底と地上の大工場で眞黒になつて働いて來た労働者の購賣力を中心として榮えてきた街である。六十年前の一漁村が今日の三池工業地帯として名を成し、將來も尚發展する為には、金と顔とで地位を得た議員には労働者とともにあらねばならないという大牟田の眞の姿はわからないであろう。

眞に市を愛する議員であり、市民の代表である議員ならば、現在腐廢墮落の極に達した政府が全國民の犠牲に於て國を賣らんとする手の中が見えるであろう。且またその地ならしとして、中小企業の倒産を促し、労働者の低賃金政策を强行せんとしている意圖が解らぬ筈はないであろう。そして労働者が今國民の先頭に立つて暗黒政治への途に立ちふさがり、中小企業者、農民と共に生活を守る為の警鐘を鳴らしている姿が理解されない筈はないと信ずる。

たゞこの様な労働者の抵抗を喜ばないのは大資本と其の政黨でしかあり得ない。今日大牟田の市政を代表する議員が、三井の資本に頭を下げ、三井の好まざるが如く労働者の團結と赤旗を好まないならば、吾々は此の人々をも階級の敵と見ねばならないではないか。

昭和三十年は市議会改選の年でる。滿身疑獄に包まれた中央も國民の信頼に耐えられないであろう一時的な義理と金と物を踏みこえて危機に立つ日本民主化の最後の防波堤として議会に吾々の代表を送らねばならない。そのためには大衆闘争を盛り上げ、廣汎なる共闘態勢をとゝのえ前進をつづけねばならない。

**寄稿**

# 檄
## 組合員、炭婦協の皆様に訴う

炭婦協会長　**五島頼子**

炭婦協会員の皆様来る日も来る日も、闘争に明け、闘争にくれたあの激しい血みどろの百十三日の首切反対闘争からこゝに二ケ月、去る七日には又思い出深いみなさんのりゝしい鉢巻姿を目のあたり見て、新たなる感激を覚えると同時に今度の賃上げ闘争に対しても絶対勝ちぬくぞという満々たる闘志が澎然として身内に湧き上るのを感じました

これは会長である私がかえつて皆様の不屈な勇姿に励まされたとも云えましよう。老いも若きも、幼子も共にスクラムを組んで、えんえんとして盡くる所を知らぬあのデモ隊の見事さ「私達に喰える賃金を、最低生活を保証せよ」と絶叫した血の叫びこそ、重労働と低賃金にあえぐ全日本労働者の雄叫びでなくてなんでしよう。

再軍備せんが為に、MSAを受入れるために政府は標準賃金のストツプ令を出そうとしています。昨年の物価の時でさえ、主食代に追われ、子供の学資に頭を悩ました私達主婦は、今年になつて生活必需品である米代、味噌代、醤油砂糖とあれよあれよというまに上つてしまつたこの暮し難い世の中にどうして対処してゆきましようか。今にして新賃金を勝ち取らなければ永久に私達は最低生活以下の惨めな状態に甘んじなければなりません。

皆さん、今度炭労が打出した新賃金要求額四千円は一円かけても妥結されない、絶対必要額です。会社側は団交を重ねる事九回に及んでもまだ私達の納得のゆく案は出していません。今度の賃上げ闘争は企闘以上のねばり强さと困難を克服してゆかねばなりません。

そうためには時限スト等による減収の痛手を少くするために、そして私達の納得のゆく線を獲得する為に家庭生活を切りつめて最後の勝利をかちとろうではありませんか。

この事はむしろ組合員のおとうさん方にお願い致したい事です。「パチンコは絶対やらない、時限スト等で早く家に帰つて退屈な時は畠のある家では丁度時期もよし食糧増産に心掛けて貰い、夜は出來れば家内中で、労働歌の練習でもして一家団らんを心掛けましよう」

「今月の十五日の給料までは割合減収も少いのでこの給料を考えて何い成るべく掛買いはせぬように幸い春先きにもなりますので、冬のように衣類も個の張るものは入らないから三月の給料でなる丈店の支払いのないように二月十五日から心掛けましよう」

これはほんの一例にすぎませんこの他皆さんはまだまだ家庭生活の中からこれは無駄だと気付かれる事があると思います。或はこれ以上きりつめられぬとおつしやる方もあるかも知れません。実際限られた足りない給料でやつていられるので、この上のきりつめた生活はほんとうに難かしいと思います。然し新賃金を闘いとる希望の彼岸に達するためには何時までも台所から悲鳴が上らない様にあらゆる面から工夫してゆこうではありませんか。

「難きがゆえに尊し」とは学校で習つた格言ですが、現にその通りだと思います。

実は今月からこの「みいけ」の一角を炭婦協の為に割いて頂く事になりました。家庭生活の合理化に対してみなさんの思いつかれた事を又は賃闘に対する外の面からの御意見とか何でもどしどし投稿して頂いて銀水の果ての会員のみなさんも荒尾の端の梨山の中のみなさんもお互いに意見の交換をし合つてお互いの向上のために勉強してゆこうではありませんか。

最後に今後ますます困難を極めるでありましようこの新賃金闘争に企闘以上の熱意と闘魂を盛り上げて御協力下さる事を切にお願い申上げます

一九五三年　二月十日

# 勞協、生協問題その他基本方針を決定
## 第二回 三鑛連中央委員會

三鉱連第二回中央委員会は去る二月十日より三日間、上野桜亭において開催された。三池中央委員は菊川副組合長、古賀組織部長の二名が出席し、西鉱連六名、北三連五名計十一名によつて開かれ、中央執行部の一般経過報告は異議なく諒解、各山報告中特に參考になる点を擧ぐれば、三池の刑事々件に類似した問題として砂川において鉱務課長に対する不法監禁、威力業務妨害容疑の十三名が身柄不拘束のまゝ送検、また交通違反容疑で渡辺書記長は起訴され、美唄芦別においても同様の事件が起きたが、その後円満解決を見る等の報告の外、企闘細部事項の山元交渉は休、廃山をめぐつて団交中であつたが三池の選手特別手当金の事件発生の報に直ちに会議を招集し北三連としては中央執行部の緊急措置と交渉経過は適切な措置として一応諒解するが、企闘における会社側態度には反省の模様すら見られぬとして山元団交は直ちに中断し選手特別手当に対する三池の要求に圧力をかける事を決定した等、三鉱連の闘う一本の姿が報告され、賃闘の完全なる指令消化状況等異議なく確認決定され、第一日を終つた。

## 部分改訂に決定
### 勞働協約闘爭方針

引続き第二日目、冒頭に賃金中闘の経過報告を確認し、一号議案の諸協定改訂闘争に関する件が上程された。主なる意見を列擧すれば砂川＝部分改訂は全面改訂に通じ然も勞協改訂は炭勞統一闘争で徹底的に闘うべきである。従つて部分改訂反対、これに対しては執行部、三池外各山より三鉱連大会決定の線でもあり、各山の相違せる解釈を統一し炭勞闘争のステップとすべきであり、又企闘自己批判において経営の民主化遂行を決定している現状にあり、部分改訂闘争が賃闘に支障を与えるものとも判断されず三月中に解決する方針であるので諒解されたいという答弁に各山共部分改訂闘争を諒解決定し各条審議に入り各山の要望、意見を採り專門委員会に一任されたが三池としては中央執行委員会、中央委員会の集約点を主張し勞働協約改訂方針は決定された。なお中闘構成は各山一名宛として十五日より発足する事もあわせて決定した。

## 三月末迄に解決
### 生活協同組合問題

二号議案、退職者特別金については三池の要求内容、闘争方針について種々論議されたが、会社の不信行為については断固闘う。その為各山早急にスト權の集約を行う事をふくめて決定した。

次の三号議案生活協同組合設立について執行部より説明あり、種々討議の結果、基本的な考え方については各山の實情を勘案して專門委員会で検討する。專門委員会の構成は各山一名とし、その招集時期は執行部に一任する（二月末目途）会社との折衝は現在の賣店をなくすという事で三月末大会を目途として解決する。以上の如き方針を確認決定、ついで三池より當綜予算一〇%削減については全く不満である、従つて復元方を强力に交渉されたい旨の動議を提出し結論としては必要缺くべからざるものとし一〇〇%にこだわらず交渉する事を決定、その他雑件もあわせ意義ある中央委員会は十三日午後七時終了した。

註　諸協定改訂内容及び具体的闘争方針については後日号外等にて詳細に報告する機会を得たいと考えています。（文責古賀）

# 改選提案を否決
## 注目惹いた港務支部総會

去る四日の中央委員会で港務支部[illegible]氏に対する裁定委員会の結論が発表され、これに関連して同支部執行部の指導力欠除が痛烈に批判されたに端を発し、五日の港務支部委員会は徹宵この問題を論議した結果、執行部から総改選が提案議決され、規約に基きこれが最終決定のための支部総会が八日午前十時から港友クラブで開かれた。

冒頭執行部からの提案（総改選）をめぐつて早くも紛議をかもし、甲論乙ばく、容易に結論を見出せなかつたが前後七時間以上に亘る論議の末「闘う態勢を整え、闘争意識の昂揚をはかるのが、本総会の建前であるべきだ」との大乗論により、採決の結果三〇対三三（白紙一）で総改選提案は否決され残された問題辻支部長の辞任申出についても「十分自己批判も行つた事だし今後は身を挺して組合活動に尽瘁して貰いたい」と満場一致留任を要望　全員労働歌を高唱して閉会した。

ガッチリ結んで
サア前進だ!!
十六日港務所で写す

# 國會で眞相究明を
## デタラメな公安調査廳

現在、政府や權力機關は組合運動の抑圧に出ていることは明らかである。中でも労働組合が一般大衆より浮き出す様なデマや流言がさかんである。

過日西日本新聞で公安調査庁の「日共白書」が発表されていたが、その中で〃今後の日共の闘争戦術は大衆行動の形態をとり展開されると規定し、争議におけるその具体例として我々の三井三池炭鉱労働組合が企業整備反対闘争で日共がデモ集会、すわり込み、ピケ訓練に參加したと引例しているが、これは全くデタラメで全く組合の自主性の冒瀆であり、又名誉をきづつけるものである。これに対して組合では十七日戦術委員会を開き、全く事実無根であつて公安調査庁の責任者に対しその究明を衆參両院の法務、労働委員会でとりあげてもらう様、來牟中の亀田得治氏（參院、法務委員）に詳細を連絡、徹底的な究明を依頼した。

# 公明を欠く朝日新聞
## 反動新聞は不賣同盟を

二月十一日の朝日新聞の社説に「公明を欠く炭労の搬出スト」として書いてあつたが、この文はまさに「公明を欠く朝日新聞の社説」といわざるを得ない。

都合の好い時だけ、言論の自由、報道の自由を守れと民主陣営と手を組み進んだ、報道機関が一度政府、權力の圧力がかゝるや、掌を返すように逆コースのお先棒をかつぐ、極端に云うならば、政府の機關紙化することはどうしてもうなづけないと共に、資本陣営が如何に保守政党の主であり、從であるかゞうかがい知れる。

續いて同新聞は十五日に「炭労スト労使双方に聽く」のテーマで取材がなされているが、これに第三者の意見なり、質問が掲載してあつたが、その内容がほとんど前記社説の影響の及ぼしていることはいなめられない事実で、この新聞を読んだ一般國民の人々が同様な感覚に陥つた場合に、社会の公器であり、新聞は正しい与論をつくということに全く反することである。四ツ山支部の地域分会では、このような反動化のコースを辿る商業紙は徹底的にボイコットしなければならないと、本所に社説の切抜きを持參、炭労一本で重大なる抗議をし、時には完全な不賣同盟で対抗する準備を進めている。

# 九共闘關係でも
## 朝日新聞が問題になる

朝日新聞の二月十三日発行の夕刊に「収拾に絶好の機」九共闘の見透し!!という見出しで、九共闘代表者会議で諸情勢検討の結果「九日からの部分ストはほとんど脱落の状態がなく有利であるので、强力な交渉をもつて一刻も早く事態収拾を有利に計るべきだ」として高松の吉村副闘争委員長、二瀬の井上組合長が、九共闘全体の意見として炭労中闘に事態収拾を要請することに決定した。

という様な要旨で記載してあつた。これに対し九炭労執行部として調査の結果

会議を開催したのは事実であるが、両氏の上京は中闘交替であつて、会議の内容からして新聞社自体が自己の判断を中心としたことが明らかで、この記事は組織闘争にあたえる影響が大きいので、朝日新聞社に対して厳重な抗議をなした。

入選三席

# 德平一家（二）

吉田稔　作
久慈悠一　画

その頃のイネは、今の信一を懐妊して臨月の身重で、不安な日々を送つていた。忘れもしない雨の降つている夜だつた。酒を口にした事のない夫の德平が、へべれけに酔つて雨にぬれながら、おそく帰つて來た。縫物をし乍ら夫の帰りを待ちわびていたイネは、德平の姿を見て、ハツと胸をつかれた。

「若しや？」その不安で一ぱいのイネは「あんたどうしたの？」とせき込んで訊ねた。德平はもうろうとした眼で笑つて見せると「首を切られんだつたけん、先山の三太郎さんと祝酒たい」そう云つたきり、上りがまちに坐り込んだ。

その夜、德平夫婦は長いこと手を取り合つて嬉しさの為に泣いた

そんな遠い昔の出來事が、二人の脳裏には昨日のようにはつきりと焼きついて離れない。然し貧乏は依然として續いた。

德平は、いま息子の信一を前にして、自分の話相手にもなつてくれる姿を頼母しくながめてはいたが「まだ〳〵若い」と一人心の中でうなづいていた。

――――

二十幾年前と同じような不安な日々が、暗雲を覆つたまゝ、大牟田の街に立ちこめていた。そして八月も終りに近いどんよりとした日曜日の午後であつた。

德平の家にもその通知が書留で配達された。封筒の宛名を見た瞬間、德平は多少の狼狽の色を見せた。封筒は息子の信一宛だつた。彼の思惑が、がらりと変つたのだ。彼にしてみれば、停年まであと二年しかない彼は、今度自分が首になつても、止むを得ないとしてあきらめる事が出來るような気がしたし、息子の信一も働いている事だ。多少まとまつた退職金でも貰つたなら、好きな釣でも楽しみに平穏に暮して行こうと思つていたのが、すつかり外れてしまつたのだ。

どうしたら良かろう？と案ずるイネに「仕方なかたい」一言云つたきり、德平はぷつつりと黙り込んでしまつた。苦労を共にして來たこの老妻に、とやかく云つて心配をかけさせたくなかつたのだ。

「俺が信一の分まで働くけん、お前は何も心配せんでよか」

口ではそう云つたものゝ、德平の胸はくしゃ〳〵しているのだ。

そこへ街へ遊びに出ていた信 が帰つて來た。

「書留の來たばい」母のイネが飛んで來てこう云つた。

「えツ？」一瞬信一の顔がサツと変つた。然しそれもほんの数分で怒りを帯びた目は封筒の字を凝視しながら、彼は「ふン」と鼻をならすと、不敵な笑いを浮かばせた「おツ母さん、心配することはいらんばい、組合のいるけんこんなもん、今から突ツ返して來る」そう云つて組合の支部へ封筒を持つて行つたまゝ、夕食時になつても信一は帰つて来なかつた。

その日、同じような出來事はイネ達が住んでいるN社宅に、何軒となく起きた。配達夫が來た時も子供達がそろ〳〵ついて來たし、そこゝに立話をしている主婦連中の気の毒そうな目が、その家毎に注がれていた。

# 再び勞使對立
## その後の赤玉爭議

赤玉被服の争議は一千二百万円の資金繰りが出来れば工場を再開すると云う事で一応妥結を見ていたが、その後滞貨処分も予定額に達せず、これに加えてスト中の賃金補償（平均賃金の六〇%）をめぐつて再び労使が鋭く対立、再建の見透し困難となつて來た。

十五日大牟田労基署が田中社長ほか会社幹部を呼んで事情を聽取したが、田中社長は一方的な首切り通告を行つたにも拘らず「出勤しなかつた分に対して賃金を補償する訳には行かない」これに対し組合側は「会社側がミシン等を引き上げるから仕事が出来なかつたのだ」と反ぱく、労基署は十九日監督官三名を同社に派遣して実状を調査したが、会社側は相当労基法違反の事実も擧つており、成行が注目されている。

大牟田名物
不知火羊羹
并ニ
もなか
相川總本舗
大牟田市古町
電話 三四七〇番

時計とめがねの店
確實な品を最も安價に
橋本時計店
大牟田市榮町一丁目　電 3864
◆この廣告御持參の方へは割引奉仕致します◆

三池専門店會　東洋高壓指定店
電話二九八一番（ニクヤイチバン）
松井精肉店
本店 不知火町電三一八〇
支店 榮町 電二九八一

眞瀬精肉店
本店 大牟田市榮町一丁目一八 電話二三三五番
支店 ハム製造加工工場 大牟田市西米生高畑 電話二九九〇番

類似品に御注意　包装商標（四山漬）をどうぞ
農林大臣賞受領
西日本名産百選入選
四山漬
大牟田名産
今村食品　小賣部 四ツ山 TEL6329
大牟田市三川町 TEL6054.6330　出張所 京町 TEL3923